

ラッパ形の黄色い花を咲かせたニッコウキスゲ
神戸市灘区六甲山町、六甲高山植物園



神戸・六甲高山植物園

ニッコウキスゲ 高原の花畑

山地の湿地や草原に群生するニッコウキスゲが、標高865メートルの六甲高山植物園（神戸市灘区）で見ごろとなっている。黄色いラッパ形の花が咲き誇り、高原に夏の訪れを告げている。花は朝に開いて、夕方には閉じてしぼんでしまうが、1本の茎にたくさんつぼみを付けるため、毎日、次々と咲くのが特徴。6月に入って、同園でも夏のような陽気が続き、一気に開花が進んだという。

園を訪れたハイカーらは、花畑のような光景を背に、記念写真を撮るなどして楽しんでいる。同園では今月中旬まで亜高山帯型の千株が見ごろで、高原型の2千株は今月下旬から咲き始める見込み。

午前10時～午後5時。入園料は中学生以上が700円、4歳以上が350円。六甲高山植物園 ☎078・891・1247

動画は
コチラ

（長嶺麻子）